

交通政策審議会観光分科会 第29回 議事概要

1. 日程

平成28年4月14日(木) 10時00分～12時15分

2. 場所

11階特別会議室(中央合同庁舎3号館)

3. 出席者

秋池委員、木場委員、篠原委員、竹内委員、伊達委員、田中委員、野田委員、屋井委員、矢ヶ崎委員、伊藤委員、大橋委員、奥委員、恩藏委員、マリ クリステイヌ委員、山内委員

国土交通省：観光庁、総合政策局、鉄道局、自動車局、海事局、港湾局、航空局

4. 議題

- ・「平成27年度観光の状況(案)および平成28年度観光施策(案)」(観光白書)について
- ・「明日の日本を支える観光ビジョン」について
- ・地方ブロック別連絡会のとりまとめについて
- ・その他

5. 議事概要

観光庁より議題について、資料に沿って説明。その後、委員による意見交換を実施。主な意見は以下のとおり。

-
- ✓ 富裕層の取り込みなど、質の追求を進めて欲しい。
 - ✓ 周遊ルートをしっかり作って外国人にアピールすることが必要。
 - ✓ 地域限定の通訳案内士の見直しなど、メリハリを付けた施策を打ち出せないか。
 - ✓ 急に決まる会議にも対応できるようなMICEのあり方を考えるべき。
 - ✓ 日本人の観光振興についても白書にしっかり記載すべき。
 - ✓ 学習指導要領の中に観光教育も盛り込んで貰い、観光の大事さを教えて欲しい。
 - ✓ アウトバウンドについてももう少し触れて欲しい。
 - ✓ 駅でコインロッカーに荷物を預けるのに小銭が無く苦労したが、もし外国人であればもっと苦労するだろう。みんながもっと簡単に消費できるような環境作りが重要。
 - ✓ MICEについて、政府が積極的に誘致を行う必要がある。交通費が無料になるチケットを用意する国もあり、インセンティブが必要。

- ✓ お城が見たいが、姫路には新幹線（のぞみ）が1時間に1本しかとまらない。外国人がレンタカーを借りても駐車場料金が高い。今後はこうした細かいところへの気遣いが必要。しっかり調査して欲しい。
- ✓ 健全な経済活性化のためには、投資を促すことと考える。宿泊業者が耐震工事も含めたホテルのイノベーションをしやすくするような制度作りをして欲しい。
- ✓ かつて工場を地方誘致したように、宿泊産業・観光産業も地方へ誘致できるような施策ができないか。
- ✓ 訪日外国人旅行者数が急激に増加する中、今、どんな不都合が起きているか洗い出し、対策を際立たせるべき。
- ✓ 観光ビジョンの視点3について、旅行者だけでなく、受け入れる日本人側もストレスを感じているはずである。受入れの体制とか歓迎ムードというのは、こちらのストレスをなくすことも非常に重要。
- ✓ 有給休暇について、強く推し進めて頂きたい。
- ✓ 各地方の成功事例をすくい上げ横展開できるような仕組みづくりや、DMOの取り組みについてもいいところをすくい上げて欲しい。
- ✓ オープンデータやビッグデータの利活用のためには、規格化、共通化が必要。
- ✓ PDCAサイクルが回るような取り組みを。
- ✓ きめ細かい日本の魅力の打ち出し方について、白書に盛り込んで欲しい。
- ✓ SNSで外国人に話題になっているが日本人が気づいていないコンテンツを、地方から集めて連動してアピールをすべき。
- ✓ MICEについて、地域の歴史遺産などの資源を活用していくべき。
- ✓ 将来、訪日外国人が増えた時の様子・イメージを提示し、受け入れ側の心構えなど、日本としてこれをどう受け止めるのかの認識共有を図るべき。
- ✓ 観光産業において、現在、人が不足しており、注力して欲しい。
- ✓ 文化財の活用については、民間が所有している文化財の支援も必要。
- ✓ コーネル大学の取り組みを掲載して欲しい。
- ✓ 国内の旅行消費額は2006年に27兆円ぐらいあったと思うが、今は21兆円を切っており、その減少をどう復活させるかにも焦点を当てて欲しい。
- ✓ 観光の資源・価値を守ることも強調して欲しい。
- ✓ 今後、観光先進国になるためには、お客様の視点をもっと前面に出して欲しい。
- ✓ 観光産業の振興においては、収益化が大事である。インバウンドで宿泊費を買い叩かれないように、適正価格を維持できるような仕組みを。
- ✓ 休暇改革について、休暇を取る人達の実感で、施策を進めて欲しい。
- ✓ 交流人口を定住人口にしていくためには、MICE・ビジネス客を呼んでくることが重要。ビジョンの訪日外国人旅行者数の目標にビジネス客の割合を盛り込んでも良かったのではないか。人口縮小を視野に入れながらの政策を。
- ✓ 何もなかったことが観光資源になる場合もあり、地域の人に何が自分たちの固有の価値かを考えてもらうことが重要。
- ✓ インフラの整備でも、インバウンド対応という目線をもって進めて欲しい。（例：

成田空港第2ターミナルは30年以上改修されていない)

- ✓ HP等の外国語表記を一層進めて欲しい。
- ✓ 現在のインバウンドの増加現象は異常ともいえ、ミクロ・マクロの視点から要因分析をもっとするべき。
- ✓ 通訳案内士やランドオペレーターの話は、インバウンドの急激な増加に、今の法制度体制では対応が無理だということだと思う。制度の改革論が必要かと思う。是非進めて欲しい。